

平成27年度 第36回山形市民文化賞の受賞者について

平成27年度 第36回山形市民文化賞の受賞者を次の5人の方に決定いたしました。

氏名	活動分野	活動年数	住所
さとう かんすけ 佐藤 寛介	能楽 (緑鳳会)	61年以上	城西町
功績： 長年にわたり能楽、謡曲に精励するとともに、後進の指導育成に尽力している。 平成19年からは緑鳳会の会長に就任し、会の発展に尽力するとともに、「山形県能楽の祭典」をはじめとする数々の舞台に出演し、精力的に活動している。 県内各流派・各会で組織する山形県能楽協会の理事として、会の運営に尽力するとともに「山形能」の開催に尽力し、平成25年の観世流宗家が出演した「第15回山形能『阿古屋の松』」の成功に寄与した。 市芸術文化協会理事として能楽はもとより市の文化振興・発展に貢献している。			
かねこ きえこ 兼子 機恵子 (かねこ そゆう) (兼子 素悠)	華道 (梶井宮御流)	60年以上	荒橋町
功績： 長年にわたり、梶井宮御流の華道に精励し、現在も精力的に活動している。 昭和50年に華道教室を始めて以来多くの門弟の指導、育成に尽力している。また、公民館のいけ花教室や老人ホームへのいけ花展示等、地域の活動を熱心に行っている。 梶井宮御流山形支部の支部長を経て現在は相談役として支部の運営に尽力するとともに、日本いけばな芸術協会華道展をはじめ数々の華展に出展し、精力的に活動している。 市芸術文化協会会員として、華道はもとより市の文化振興・発展に貢献している。			
じんぼ ふきこ 神保 ふう子 (じんぼ そうろ) (神保 宗路)	茶道 (表千家)	49年以上	上町
功績： 昭和41年に茶道表千家同門会山形県支部に入門以来、長年にわたり茶道に精励している。 昭和64年に茶道表千家の地方教授を取得し、多くの門弟の指導、育成に尽力している。 平成2年から表千家同門会山形県支部の幹事を務めるなど、同支部の運営に尽力している。 県芸術文化協会茶会、市芸術文化協会茶会、宝紅会月釜、宝紅庵や山寺芭蕉記念館での市民の茶会をはじめ、各茶会の成功に寄与している。 市芸術文化協会会員として、茶道はもとより市の文化振興・発展に貢献している。			
かとう れいこ 加藤 玲子 (ねりま みき) (音里間 満生)	郷土芸能(民謡) (三味線音里間流)	40年以上	花楸
功績： 長年にわたり三味線に精励するとともに、後進の指導育成に尽力している。 平成10年には三味線音里間会二代目を襲名し、会の発展に尽力するとともに、幼い頃から精進した日舞をはじめ、胡弓、津軽三味線などについて研鑽を積み、三味線のみならず、日本舞踊、胡弓奏者としても活躍している。 平成20年に開催した「三味線音里間流35周年記念公演」において県及び市芸術文化協会奨励賞を受賞。 福祉施設や刑務所への慰問をはじめ、東日本大震災で被災した石巻や塩釜への慰問を積極的に実施している。 市芸術文化協会理事として、音楽はもとより市の文化振興・発展に貢献している。			
すずき よしお 鈴木 美夫	郷土芸能 (休石老酒盛)	45年以上	中里
功績： 高瀬地区で細々と傳承されてきた東山古謡「老酒盛」を、昭和45年に採譜・編曲し、同氏の夫人が考案した振付を加え、普及、継承に努めた。 昭和58年に「休石老酒盛保存会」を結成し、顧問に就任し、会員の指導育成にあたっている。 山形市民俗芸能連合保存会公演会や山形紅花まつり、山形県リハビリセンター夏祭り、敬老会などの地域の行事に積極的に出演し、「老酒盛」の普及、振興に寄与するとともに、地域づくりに貢献している。 長年にわたり保存会活動に精励し、市の郷土芸能である「休石老酒盛」の継承・発展に貢献している。			

※ 表彰式は、2月6日(土)午前11時から山形グランドホテルにて行います。

【参考】この賞は、本市の文化活動の一層の振興を図るため、長年、その道一筋に精励し、又は傳承を継承し、その功績が顕著である方々を表彰するもので、昭和55年に創設されています。 担当：企画調整部文化振興課(内線639)